

コミュニティ・スクールだより No.1

コミュニティ・スクールの取組を進める3つの柱と8つの重点項目

宇部市では、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進をめざして、3つの柱と8つの重点項目を設定し、コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきます。

1 地域学校協働活動の推進

- (1) 「総合的な学習の時間」を核として明確に位置づけた学校・地域連携カリキュラムによる学習を、地域の特色を生かしながら計画的に実施し、児童生徒の地域貢献意識の向上をめざす。
- (2) 「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進に向けて、研修会への参加や情報交換、リーフレットの活用等により、教職員や保護者の理解浸透を図る。
- (3) 各地域の実情に応じて児童生徒同士の交流、協働活動への参加、学校運営協議会間の連携等を進めるとともに、小中連携を主軸に幼保・高校とも連携し、高校生や大学生等、幅広い校種や世代を巻き込んだ協働活動を展開する。
- (4) これまで積み上げてきた協働活動の成果を生かしながら、学校・地域における地域学校協働活動の一層の充実を図るとともに、大人の学ぶ機会や児童生徒との交流が推進される学校づくりに取り組む。
- (5) 学校と地域学校協働活動推進員との日常的な連携を深めるとともに、地域学校協働活動本部（社会教育推進委員会）等の関係団体との連携を強化することにより、協働活動がよりスムーズに進むよう努める。



2 学校運営協議会の一層の充実

- (1) 幅広い児童生徒の参加・参画を促す手法を工夫するなどして、学校や地域の課題解決に向けた熟議を一層充実させ、具体的な協働活動を進める。
- (2) 女性、若手など、より多様で持続可能な地域人材の参画を進め、熟議の活性化を図るとともに、継続的な人材育成・発掘に努める。

3 保護者・地域に届く情報発信の充実

- (1) 学校ホームページやSNS等の活用による情報発信に加え、授業参観や協働活動等を通じた直接的な情報発信を積極的に行い、コミュニティ・スクールの取組に対する保護者・地域への浸透を図る。